

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2010-130988(P2010-130988A)  
【公開日】平成22年6月17日(2010.6.17)  
【年通号数】公開・登録公報2010-024  
【出願番号】特願2008-312466(P2008-312466)  
【国際特許分類】

A 0 1 K 87/04 (2006.01)

【F I】

A 0 1 K 87/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

フレームに釣り系案内内部と固定部とを形成し、この固定部を筒状体の受け部に装着した釣り系ガイドであって、

前記フレームの釣り系案内内部は固定部に対して軸方向の前方に傾斜し、

前記筒状体は、前記受け部の軸方向前側に配置された前筒部と軸方向後側に配置された後筒部とを有し、

前記後筒部は、軸方向に沿う竿杆挿入孔の後端周縁部から前方に向かって湾曲する湾曲面状の外周面を有することを特徴とする釣り系ガイド。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

フレームに釣り系案内内部と固定部とを形成し、この固定部を筒状体の受け部に装着した釣り系ガイドであって、

前記フレームの釣り系案内内部は固定部に対して軸方向の前方に傾斜し、

前記筒状体は、前記受け部の軸方向前側に配置された前筒部と軸方向後側に配置された後筒部とを有し、

前記後筒部は、軸方向に沿う竿杆挿入孔の後端周縁部から前方に向かって順に拡径する外周面を有し、

前記前筒部は、拡径した厚肉部を有することを特徴とする釣り系ガイド。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、釣り系ガイドに関し、特にフレームに釣り系案内内部と固定部とを形成し、この固定部を筒状体の受け部に装着した釣り系ガイドに関する。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するため、本発明によると、フレームに釣糸案内内部と固定部とを形成し、この固定部を筒状体の受け部に装着した釣り糸ガイドであって、前記フレームの釣り糸案内内部は固定部に対して軸方向の前方に傾斜し、前記筒状体は、前記受け部の軸方向前側に配置された前筒部と軸方向後側に配置された後筒部とを有し、前記後筒部は、軸方向に沿う竿杆挿入孔の後端周縁部から前方に向かって湾曲する湾曲面状の外周面を有する釣り糸ガイドが提供される。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

更に、フレームに釣糸案内内部と固定部とを形成し、この固定部を筒状体の受け部に装着した釣り糸ガイドであって、前記フレームの釣り糸案内内部は固定部に対して軸方向の前方に傾斜し、前記筒状体は、前記受け部の軸方向前側に配置された前筒部と軸方向後側に配置された後筒部とを有し、前記後筒部は、軸方向に沿う竿杆挿入孔の後端周縁部から前方に向かって順に拡径する外周面を有し、前記前筒部は、拡径した厚肉部を有する釣り糸ガイドが提供される。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、釣り糸案内内部と固定部とが、それぞれ前方に突出する突部を有し、固定部の突部が突出する長さを、釣り糸案内内部の突部よりも短くかつフレームの肉厚以下とする場合には、フレームの軽量化、小型化が可能で、更に、釣り糸案内内部の突部が相対的に大きく形成され、釣り糸の案内特性に優れた釣り糸ガイドを係止することができる。